



キャリア教育優良学校 文部科学大臣表彰受賞

本校が、第18回キャリア教育優良学校として文部科学大臣表彰を受賞することが決定しました。表彰式は令和8年1月19日（月）文部科学省で行われます。

- 児童生徒一人一人の社会的・職業的自立を目指し、2013年からキャリア教育を学校教育目標の中心に据えて教育課程の改善や職員育成を継続し、職場見学、就業・施設体験を積極的に導入して地域や産業界と連携した教育を展開している。
- 「うれ特就労フォーラム」では生徒・保護者・事業所が参加し、就業体験の報告や実演を通じて障害者雇用への理解を広げるとともに、全職員による企業開拓や巡回研修で進路支援を充実させ、地域との協力関係を深めている。

これらのこととき功績として評価いただきました。

今後も、地域の皆さんと一緒に、子どもたちの夢をかたちしていきます。

クリスマス会（小学部）

小学部では、子どもたちが楽しみにしていた「クリスマス会」が行われました。「サンタさん、来てくれるかな～。」とわくわくしながら、ツリーづくりや歌の練習に励んだ子どもたち。当日はサンタさんがプレゼントを持ってきてくれて、とても喜んでいました♪



らんらんチャレンジ（中学部）

12月3日（水）～12日（金）の期間、朝の運動の時間で「らんらんチャレンジ」を行いました。

校外のコースを走る生徒もあり、通常の朝の運動よりも活動量が増えましたが、冬の寒さに負けず、最後までベストを尽くして頑張りました。



とっぴーマルシェ（高等部）

12月20日（土）に「とっぴーマルシェ」（作業製品販売、職業自立コース運営のカフェ、C課程生徒の発表、福祉作業所の販売）を開催しました。たくさんのお客様にお越しいただき、ありがとうございました。



2026年は…

教頭 白川 修一郎

うれしの特別支援学校は今年（2026年）4月で20年目の節目を迎えます。

私は、開校したばかりの本校に赴任し、新設でぴかぴかの学校に来た時のわくわくした気持ちを今のことのように覚えています。その当時は小学部・中学部・高等部合わせて在校生が44名でスタートしましたが、今では全校児童生徒数が202名となり佐賀県の中でも大規模な特別支援学校の一つとなりました。

さて、今年は午年（うまどし）です。午年（うまどし）のいわれは、力強く前進する馬の姿から「躍動・成功・勝負運」の象徴として、また、神馬に代表されるように神様の使いとして古くから縁起の良い動物とされてきました。

今年は、私も仕事に趣味に生き生きと活動して「躍動の年」としたいと思います。みなさんにとっても「躍動の年」でありますように。



進路指導部

うれ特就労フォーラム

～後期就業・施設体験の実施にあたり
ご協力ありがとうございました～

12月5日（金）に標記フォーラムを開催し、高等部3年生進路先予定事業所や企業、保護者、関係機関等の皆様が高等部3年生後期就業・施設体験の報告や職業自立コースによる実演（ベッドメーキング、ビルクリーニング、喫茶サービス）の発表をご参観いただきました。後半では、「障がいのある方と共に働くために」と題して、障害者雇用実績のある企業2社の方々による実践発表がありました。

本校高等部は、就業・施設体験を進路指導の核と捉えています。
就業体験先の確保、
障害者雇用への理解啓発及び地域企業の新規開拓を図り、今後の進路支援に生かしていくと考えています。



相談支援部

杵藤地区の特別支援教育のセンター校として

～地区別連絡協議会の実施～

11月21日と28日に地区別連絡協議会を開催しました。杵藤地区の幼・保、小・中・高の特別支援教育コーディネーターの先生方が約50名参加され、「通常の学級での対応の工夫」というテーマで各学校での日頃の支援の工夫点を出し合いました。研修会後は本校の参観もされました。

本校は、杵藤地区の特別支援教育のセンターとして幼・保、小・中・高の連携を図り特別支援教育の充実に努めています。また、本校のみならず地域の先生からの巡回相談や保護者の方の相談も積極的に受け入れています。

お気軽に各学部のコーディネーターへお声かけください。

相談支援部担当
小：大渕 中：松尾 高：川崎
電話0954-66-4911

